

2012年5月24日

2012年3月期 通期

(2011年4月～2012年3月)

# 連結決算説明資料

株式会社MCJ

東証マザーズ:6670

## Contents

- 1. 決算ハイライト ▶▶▶ P. 2
  
- 2. 経営方針・事業体制 ▶▶▶ P. 11  
及び2013年3月期の見通し

## 連結業績サマリー

## 当期純利益の過去最高益を達成

## 累計期間（4～3月）

- 上期は東日本大震災の影響が残り、下期はHDD供給不足の影響を受け、前年比減収
- 営業・経常減益の一方、連結納税制度採用により当期純利益の過去最高益を達成

	2011年3月期 通 期	2012年3月期 通 期	対前年比
売 上 高	81,703	80,238	- 1.8%
営 業 利 益	2,788	2,373	- 14.9%
経 常 利 益	3,071	2,615	- 14.9%
当 期 純 利 益	1,501	1,741	+ 16.0%

(単位:百万円)

## 会計期間（1～3月）

- インテル製チップセット不具合及び東日本大震災の影響を受けた前年同期比で増収
- 価格下落に伴い粗利率が低下し、営業減益

	2011年3月期 第4四半期	2012年3月期 第4四半期	対前年比
売 上 高	20,081	21,764	+ 8.4%
営 業 利 益	516	484	- 6.3%
経 常 利 益	653	464	- 28.9%
当 期 純 利 益	150	541	+ 259.8%

(単位:百万円)

## 連結業績予想比

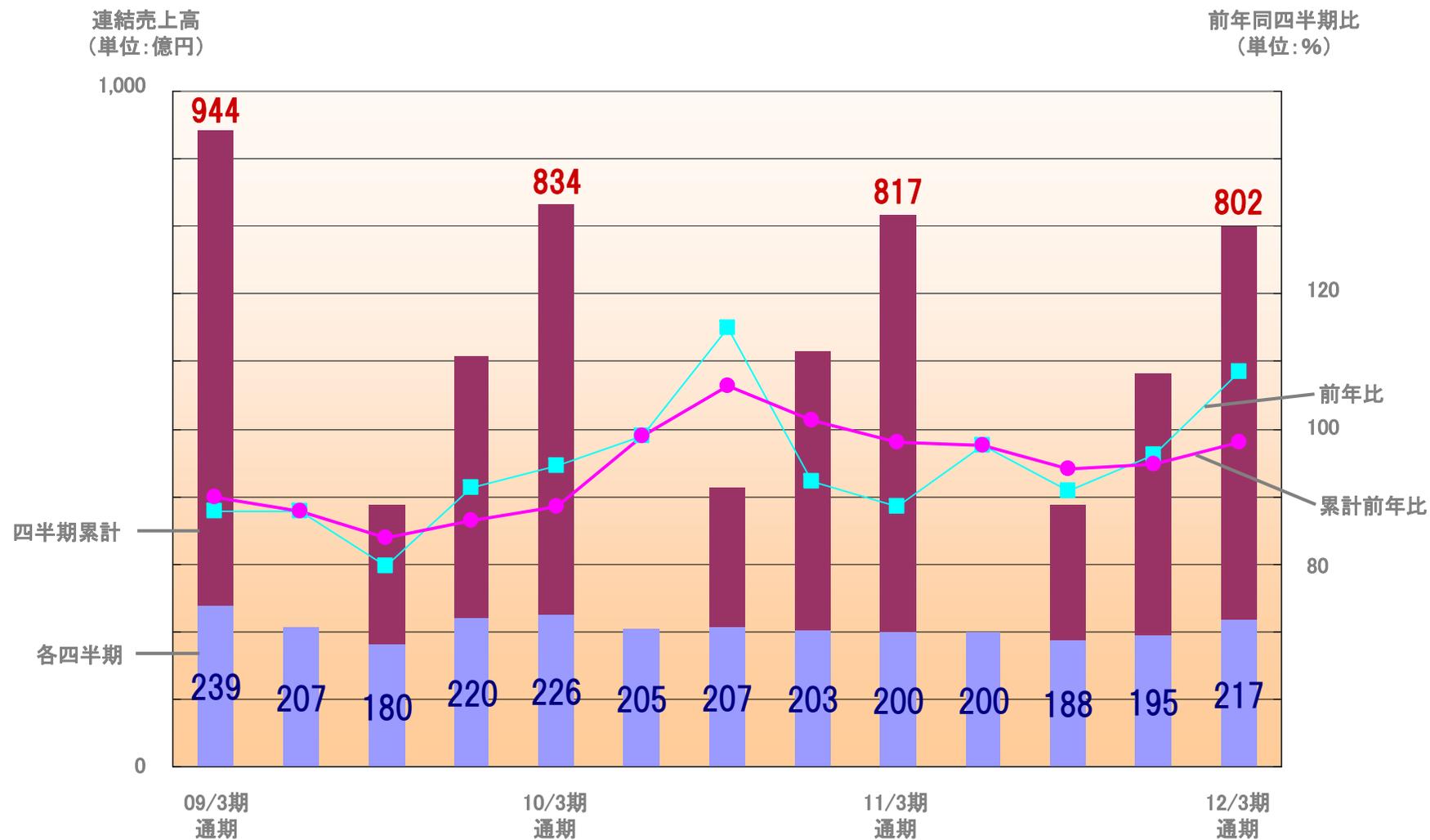
## ほぼ前回修正予想どおり着地

	2012年3月期 通期 実績	2012年3月期 通期 1/31修正予想	達成率
売上高	80,238	80,525	99.6%
営業利益	2,373	2,372	100.0%
経常利益	2,615	2,685	97.4%
当期純利益	1,741	1,480	117.6%

(単位:百万円)

連結売上高推移

1年半ぶりに四半期売上高が前年を上回る



## 連結業績前年比

## 価格下落が急速に進み、前年並みの粗利率で着地

	2011年3月期 通 期		2012年3月期 通 期		前年比 増減	
	金額	売上対比	金額	売上対比	金額	売上対比
売 上 高	81,703	100.0%	80,238	100.0%	△ 1,465	—
売 上 原 価	66,568	81.5%	65,339	81.4%	△ 1,229	- 0.0%
売 上 総 利 益	15,135	18.5%	14,899	18.6%	△ 236	+ 0.0%
販 管 費	12,347	15.1%	12,525	15.6%	178	+ 0.5%
営 業 利 益	2,788	3.4%	2,373	3.0%	△ 415	- 0.5%
経 常 利 益	3,071	3.8%	2,615	3.3%	△ 456	- 0.5%
税引前純利益	2,649	3.2%	2,482	3.1%	△ 167	- 0.1%
当 期 純 利 益	1,501	1.8%	1,741	2.2%	240	+ 0.3%

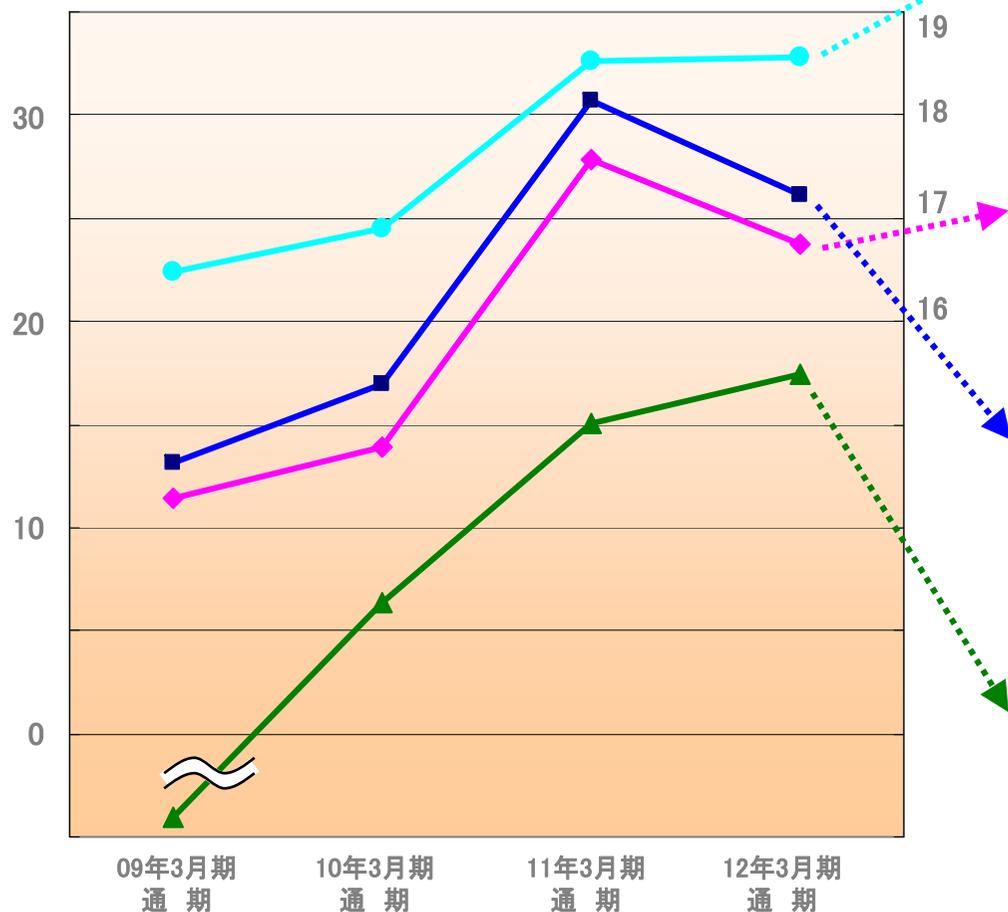
(単位:百万円)

連結利益推移

営業・経常減益ながら、当期純利益は過去最高

累計利益額  
(単位:億円)

粗利率  
(単位:%)



粗利率 18.6%

- PC販売は引き続き好調で、台数は前年比17%増
- PCの販売総額も前年を上回ったが、価格下落が急速に進み、粗利率は前年並みに

営業利益 23.7億円

- 売上減による粗利減
- 積極的な広告宣伝により販管費増

経常利益 26.1億円

- 為替差損益は、前年比2.0億円のマイナス
- PC販売に付随する受取手数料が増加

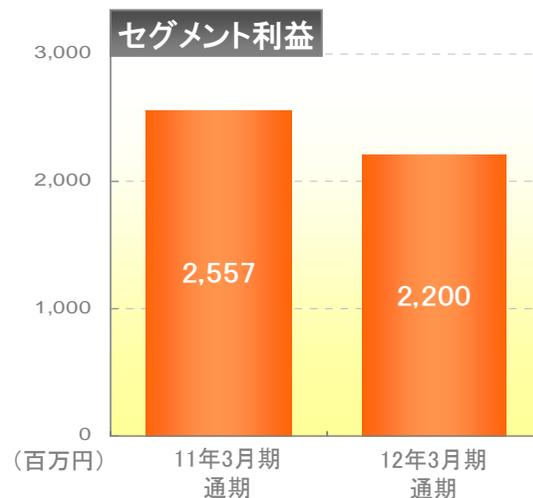
当期純利益 17.4億円

- 特別利益・特別損失とも、前年比で減少
- 連結納税制度採用等により、法人税等が前年比4.0億円減

セグメント情報

PC事業は減収減益、出版事業は増収減益

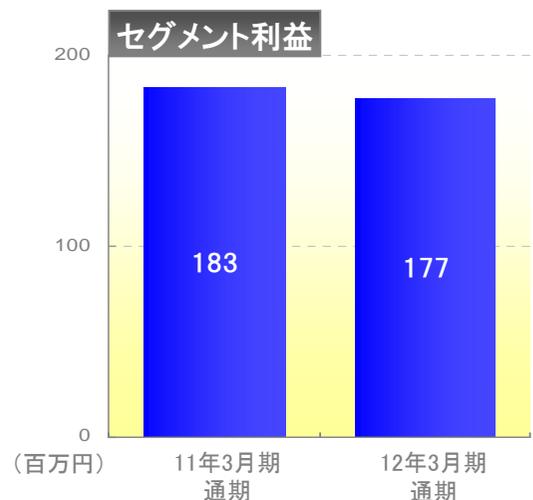
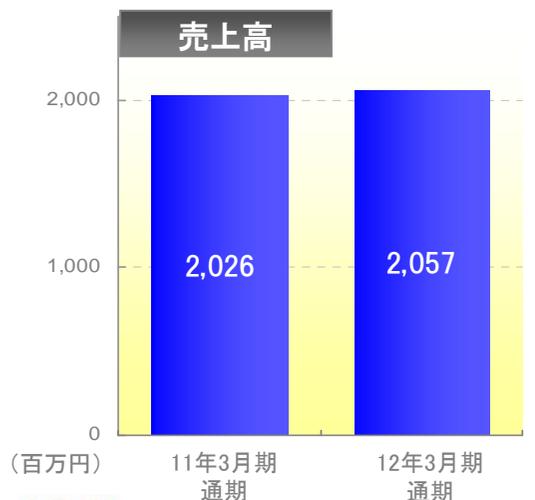
■ パソコン関連事業



主な要因

- 積極的な広告宣伝・販売促進により、PCは出荷台数・金額とも前年を上回ったが、価格下落が進む
- 小売部門におけるパーツ販売の低迷が続く
- 液晶ディスプレイの欧州販売は、出荷台数・金額とも前年を上回る

■ メディア事業



主な要因

- 出版市場は引き続き縮小傾向ながら、主力のPC関連書籍を中心に販売数を伸ばし、増収を確保
- 書籍においても価格下落が進んでおり、粗利率が低下

## パソコン関連事業

## PC事業主要各社の2012年3月期業績

## ■ マウスコンピューター(単体)

	2011年3月期 通 期	2012年3月期 通 期	対前年比
売 上 高	17,115	19,700	+ 15.1%
経 常 利 益	645	509	- 21.1%
当期純利益	287	288	+ 0.2%

(単位:百万円)

■ PC販売は好調ながら価格下落

## ■ テックウインド(単体)

	2011年3月期 通 期	2012年3月期 通 期	対前年比
売 上 高	23,873	24,903	+ 4.3%
経 常 利 益	403	268	- 33.5%
当期純利益	97	122	+ 25.4%

(単位:百万円)

■ 販売好調ながら、HDD供給不足の影響を受ける

## ■ iiyama Benelux(単体)

	2011年3月期 通 期	2012年3月期 通 期	対前年比
売 上 高	8,933	9,156	+ 2.5%
経 常 利 益	991	1,134	+ 14.5%
当期純利益	875	851	- 2.8%

(単位:百万円)

■ 販売台数増×粗利率向上

## ■ ユニットコム(単体)

	2011年3月期 通 期	2012年3月期 通 期	対前年比
売 上 高	33,110	29,395	- 11.2%
経 常 利 益	507	667	+ 31.5%
当期純利益	141	397	+ 181.7%

(単位:百万円)

■ パーツ販売が低迷

## 自己資本比率が向上し、財務的な健全性を維持

## ■ 連結キャッシュフロー

	2011年3月期 通期	2012年3月期 通期
営業活動による キャッシュフロー	3,433	△ 1,321
投資活動による キャッシュフロー	△ 157	△ 1,175
財務活動による キャッシュフロー	△ 1,368	△ 916

(単位:百万円)

## 前年との比較

- 前期末比で売上債権が増加し、買入債務が減少
- 小売店舗用不動産を取得
- 短期借入金を圧縮

## ■ 財政状態

	2011年3月期 期末	2012年3月期 期末
総資産	36,973	36,916
純資産	15,344	16,904
自己資本比率	40.5%	44.7%
現金及び現金同等物	13,120	9,554
有利子負債	11,720	10,795

(単位:百万円)

## 前年との比較

- 純資産増により、自己資本比率が向上
- 有利子負債が現預金を上回るが、財務的な健全性は引き続き維持

## 配当の状況

## 配当性向を15%に見直し、大幅に増配

	2010年 3月期 (実績)	2011年 3月期 (実績)	2012年 3月期 (予定)
年間1株当たり 配 当 金	140円	305円	5円14銭
配 当 性 向 (連 結)	10.7%	10.0%	15.0%
純資産配当率 (連 結)	0.5%	1.0%	1.7%

(注) 2011年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割

## ■ 経営方針・事業体制 及び2013年3月期の見通し

## ■既存事業の強化により、増収に転じる

2012年3月期

より積極的に既存事業及び新規事業領域の拡大を目指す

- ▶ PC事業においては、既存コアユーザー以外の獲得を強化
- ▶ 既存子会社において、その他新製品・新事業の機会を探索
- ▶ M&Aによる新規事業分野への参入

4期連続での減収となったものの、主力のPC販売は好調であり、  
今期より、既存事業の強化に繋がる2社が新たにグループに加わる

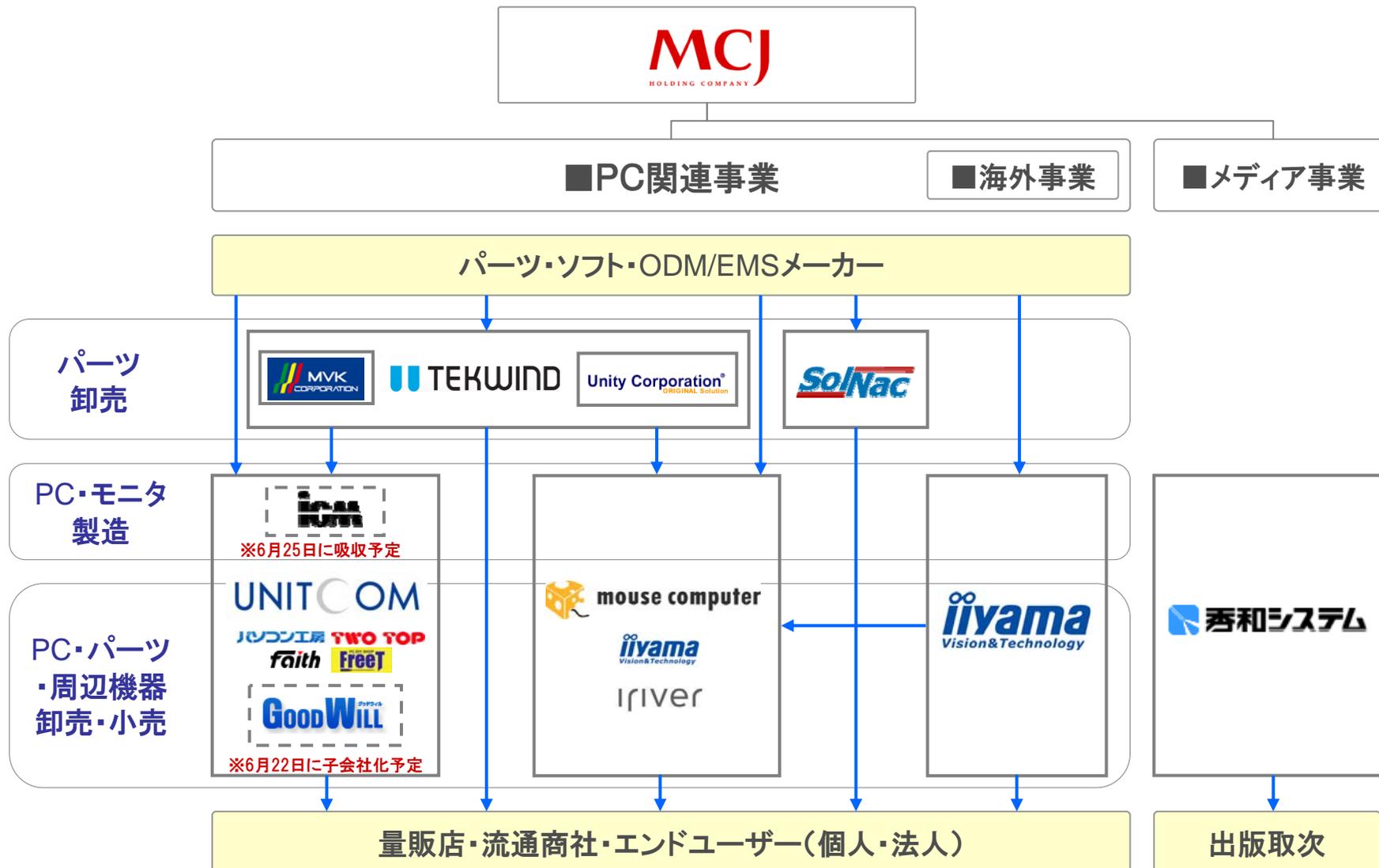
2013年3月期

中長期的な成長に向けて、内容を伴った増収を達成する

- ▶ 伸長中の法人向けビジネスの更なる拡大・強化
- ▶ 小売部門はM&Aによる規模拡大を通じて再強化
- ▶ 既存各社における新製品・新事業への取り組みを継続するとともに、M&Aによる新規事業分野参入も引き続き検討

グループ体制

■国内PC関連事業における垂直展開の体制を拡充



## HDD関連製品・サービスの提供

- HDD技術支援サービス

- ✓ HDD障害解析サービス
- ✓ HDD選定評価サービス
- ✓ HDDロット評価サービス
- ✓ HDDデータ復旧サービス



- HDDソリューション製品の販売

- ✓ 高信頼性ハードディスク “Non-Stop HDD”

深刻な障害を起こす可能性がある  
HDDを事前に排除

メーカー標準HDDを独自開発による  
特性試験でスクリーニング

- ✓ 高信頼性HDD搭載PC “QIPROS”
- ✓ 産業用PATA-SATA変換ボード/ドライブ  
“SOPSS”
- ✓ HDD障害解析初期診断用テスター  
“SHE-lite”

## SMART社メモリモジュール・フラッシュ製品の販売

世界有数のOEMメモリーモジュールメーカーである SMART Modular Technologies社の代理店として、SSD、メモリーモジュール、フラッシュ製品を販売

- 製品の特徴

- ✓ 高品質、高性能
- ✓ 安定供給、長期保証
- ✓ 発熱に対応した製品設計と製造
- ✓ 幅広いラインアップ
- ✓ カスタム仕様製品にも対応



## 愛知県を中心に22店舗を展開

- 愛知県(8店舗)
  - 大須エンターテイメントデジタルモール本店、長久手店、一宮店、半田店、刈谷店、豊田店、岡崎店、豊橋店
- 岐阜県(2店舗)
  - 岐阜正木店、岐阜茜部店
- 三重県(2店舗)
  - 四日市店、津店
- 静岡県(1店舗)
  - 浜松店
- 沖縄県(2店舗)
  - 那覇新都心店、北谷店
- 中古専門店(7店舗)
  - 奈良店、松江店、徳島店、松山店、福岡香椎店、佐世保店、長崎店



## PC専門店として幅広い製品・サービスを提供

- BTOパソコン
  - ✓ 親会社となるユニットコム製品を従来より取扱い



- PCパーツ
- アニメ・ゲームソフト
- 修理・サポート
- 中古PC買取

今期のトピックス

# 新CPU、新OSの発売による市場の活性化に期待

## ■ Ivy Bridge



## ■ Windows® 8

- 2012年中の発売が予想される新OS
- スマートフォンライクな、タブレットPCに最適化された新しいGUIを搭載

## ■ Ultrabook™



## ■ タブレットPC



## 業績予想

## 増収ながら、価格下落を予想し減益を見込む

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	41,669	841	966	524
売上高比率	-	2.0%	2.3%	1.3%
対前年同期増減率	7.2%	△ 43.5%	△ 40.5%	△ 40.8%
通期	89,194	2,255	2,508	1,395
売上高比率	-	2.5%	2.8%	1.6%
対前年増減率	11.2%	△ 5.0%	△ 4.1%	△ 19.9%

(単位:百万円)

- 国内PC市場は、価格下落が続くことによる粗利率の低下を見込む
- 経済の不透明感が高まっている欧州での液晶ディスプレイ販売も、粗利率低下を見込む
- 収益性低下の中でも、中長期的な成長にとって必要な、ユーザー層拡大のための広告宣伝・販売促進投資や、品質・サービスレベル向上のための投資は抑制しない
- これらにより、売上高はM&Aもあり増加するものの、減益を見込む

## 配当予想

## 配当性向15%を今後の利益還元目標とする

	2011年 3月期 (実績)	2012年 3月期 (予定)	2013年 3月期 (予想)
年間1株当たり 配 当 金	305円	5円14銭	4円12銭
配 当 性 向 (連 結)	10.0%	15.0%	15.0%
純資産配当率 (連 結)	1.0%	1.7%	—

(注) 2011年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割

## ■本資料取扱上のご注意

本資料に記載された業績予想および将来予測は、作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断・記載したものであり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、未監査であり、その内容の正確性及び確実性を保証し、または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料は情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行っていただきますようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用・転載等をご遠慮ください。



【お問合せ先】

IR担当

TEL:03-5821-7114